

流動化剤 標準形 (I 種)

ハイフルードH

ハイフルード H は、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」流動化剤標準形 (I 種) に適合する流動化剤です。ハイフルード H は、ポリカルボン酸系の混和剤を用いたベースコンクリートの流動化に適しています。

特 長

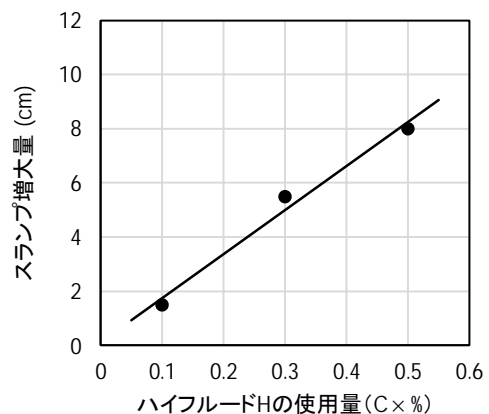
- 単位水量の少ない低スランプのコンクリートの品質を保持したまま施工性を著しく改善します。
- 通常の軟練りコンクリートよりブリーディングが減少するため、床の直仕上げ時間の短縮と精度の向上がはかれます。
- 暑中コンクリートや運搬によるスランプロスの回復剤としても有効です。

主成分・物性

種 類	主 成 分	外 観	密度 (g/cm ³ , 20°C)
流動化剤 標準形	ポリカルボン酸系化合物	褐色液状	1.02 ~ 1.08

使用量・使用方法

- ハイフルード H の添加量とスランプ増大量の関係は種々の要因により異なりますが、スランプを 1cm 増大させるのにセメント質量に対して 0.06~0.12%程度を目安に添加してください。
- トラックアジテータの積載量は、最大積載量より 0.5m³ 以上減じてください。
- ハイフルード H の添加は、原則として現場で行って下さい。コンクリートを打設する直前にアジテータ車のドラム内に投入し、均一になるよう高速で攪拌してください。攪拌時間は、ベースコンクリートのスランプが 8cm 以上の場合には 60~90 秒間、ベースコンクリートのスランプが 8cm 未満の場合には 120 秒間以上としてください。種々の事情で高速回転が困難な場合には、中速回転で 120~180 秒間攪拌してください。



ハイフルード H の使用量とスランプ増大量の関係(例)
(W/C=45%, SL=8cm)

JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による試験結果(例)

項目	流動化剤 標準形 (I種)	
	JIS A 6204 による規定値	試験値
ブリーディング量の差 (cm ³ /cm ²)	0.10 以下	0.04
凝結時間の差 (分)	始 発	-60~+90
	終 結	-60~+90
経時変化量	スランプ (cm)	4.0 以下
	空気量 (%)	± 1.0 以内
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	90 以上
	材齢 28 日	90 以上
長さ変化比 (%)	120 以下	99
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	92
塩化物イオン (Cl ⁻) 量 (kg/m ³)	0.02 以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m ³)	0.30 以下	0.02

取扱い上の注意事項

- 取扱い時には、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、清澄な水でよく洗浄した後、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 服用は絶対に避け、万一誤飲した場合には胃の内容物を吐かせ、速やかに医師の手当てを受けてください。
- 作業後は、手指や製品に触れた部分を水でよく洗浄してください。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート (SDS) をご覧ください。

荷姿

- 18kg 缶

竹本油脂株式会社

本社・研究所 〒443-8611 愛知県蒲郡市港町 2-5 TEL.0533-68-2118 FAX.0533-68-1339
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-20-5 S-GATE 八丁堀 3F TEL.03-3553-6912 FAX.03-3553-6920
大阪営業所 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町 4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル 9F TEL.06-6243-3306 FAX.06-6243-3347
九州営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-10 東福第三ビル 2F TEL.092-431-4355 FAX.092-473-8605

- 「ハイフルード」は竹本油脂株式会社の登録商標です。
- このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。
- ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。